

いうとどこですか。

C₀ はじめのあいさつ。(いっせいに)

T₃₁ はじめのあいさつ、ね。ここはこのままでいいと思ったら、これでいいです。

(→ をつける) これは、このまま使う。

C₁₅ 書きなおすときは——。(4・5人の子)

T₃₂ 書きなおすときは、「つけたす」とか、「もっとくわしく書く」とか、と直す。

T: それじゃ、次へ行くよ。第2番です。はい。

これは、どこか直すところあるだろうか。

C₁₆ うーん。それからっていうところ。(2・3人、言う。)

T₃₄ だまって。手をあげていってもらおう。だまってみて。まず読んでみてください。はい。気づいた人。(9人挙手) しばらく考えさせる。

T₃₅ はい。手をおろして。山本君、どこを直す?

C₁₇ はい。3小の球技大会と、

T₃₆ うん。

C₁₈ 〈それから〉というところが段落になっていない、ことと、(?) つづげざまになっている。つづげざまに。

T₃₇ あ、そうか。ほかにも手をあげた人いたね。はい。玉熊君。

C₁₉ 給食係になりました。そこで切らないで、そこに、〈が〉を入れた方がいいじゃないですか。

T₃₈ あ、ことば直すの。なるほどね。

C₂₀ 給食係になりましたが……

T₃₉ 大沼さんは、そちらの学校で……とつなぐのね。

山本君と同じ考えの人、手を上げてごらん。いま、手を上げた人で……。ここで切った方がいいんでないかという人。吉田君はどんなふうに考えたの。ここ?

C₂₁ ぼくも山本君と同じで、切った方がいいと思います。

T₄₀ どうして? どうして切るの?

C₂₂ ちがうことだから。

ととえられる。

	だれに書くか	大沼さん
	書くじゅんじょ	どんなことを書くか
〔手組を書く組み立て〕	はじめのあいさつ	→ ○
	○知らせること	
	○たずねること	
	○お礼	
	○さそうこと	
	終わりのあいさつ	→ つけたす
	日付	け

②の部分

② はじめに3小の様子を知らせます。9月の30日に球技大会がありました。3年生は、ドッジボールをしました。女はぜんぶのしあいに負けてしまいました。とてもくやしかったです。でも、男ががんばったので、1組は2位になりました。
それから10月1日の学級会で、係をきめました。わたしは、給食係になりました。大沼さんは、そちらの学校で、何の係になりましたか。

ここでは、「事柄ごとにまとめて書く」ことを気づかせようと意図している。ひとつの事柄で、一つの段落を構成させようとしているのである。

C₁₈の子が、「3小の球技大会と、〈それから〉というところが、段落になっていない」と指摘している。これは、球技大会のことと、係のことという二つの事柄を、一つの段落にしているから(つづげざまになっている)切れといているのである。これは教師の気づいて欲しい点であった。

T₃₇の指名の意図は、この方向で、深めたり、もっと明確な発言を求めてのことだろう。ところがC₁₉は、(他のことを言うべきだと思ったのか)別の問題(文と文を続けるとよい)を出してしまった。これは教師の予想に反することだったろう。T₃₈, T₃₉は、むずかしい扱いのところである。

C₂₁は、問題を山本君の発言にもどしている。これは、「山本君と同じ考えの人」と限定しての発問であるから、当然そうなる。「切った方がいい」と、明確に結論づけている。T₃₉は、なぜ切るのかその理由をはっきりさせようとしている。「ちがうことだから」というのは、「何が、どうちがうのか、よく知っているのことであろうか。この答えは、教師の予想したものであったので、具体的